



ベトナム調査団の ご案内

JURIDICAL FOUNDATION FOR
INTERNATIONAL PERSONNEL MANAGEMENT

I. P. M.



調査団の目的と概要

今、ベトナムは30歳以下の人口が全体の60%を占め、社会には若い活力が満ち溢れています。また、経済成長率も年率6～8%と高い水準を維持しており、高度成長期前の日本を彷彿とさせる、まさに「これからの国」と言えます。

近年、この将来性溢れる国へ多くの日本企業が進出し、日本とベトナムの経済的な結びつきは非常に密接なものとなっています。さらに経済関係の緊密化は同時に人的交流をも深め、今、多くの日本人がベトナムに派遣され、現地の人々と共に働く一方、多くのベトナム人が留学・研修・ビジネス等で来日し、各方面で活躍しています。

当財団では、このような各方面における両国関係の緊密化、特に人的交流の深まりに注目し、「ベトナムを通して外国人との協働を考える」をテーマに、主としてベトナムの労働情勢の調査を目的とした調査団を派遣することとしました。

今回の調査では、主にバイク部品を製造している日系企業を訪問し、実際に日本企業がどのようにベトナムやベトナム人と取り組んでいるのかを視察したり、ベトナムの現地企業や技術教育機関を調査・視察し、さらにはベトナム海外労働部を訪問し、話を伺う予定です。

その他、日本の文部科学省国費留学生として東京大学に留学し、帰国後、日系企業の支店長を務めた後、自ら起業したベトナム人実業家の方から、ベトナム人から見た日本人・日本企業についてお話を聞く機会も設けています。

今回の調査団を通しまして、ご参加頂きました皆様のベトナムやベトナム人に対する理解を深めることができれば幸いです。



日程表

期間

2010年7月6日～7月11日(中部国際空港発着)

年月日	時間	行動予定
7月6日 (火)	09:00	中部国際空港集合
	11:30	中部国際空港離陸(VN967便)
	14:50	ハノイ・ノイバイ空港到着
	16:00	ホテルチェックイン
	18:00	夕食会(眞弓理事による結団の挨拶)
7月7日 (水)	08:00	ホテル出発
	09:00	ノイバイ工業団地内日系企業(2社) 視察
	14:00	現地教育施設(JVNET) 視察
	17:00	ベトナム人実業家:ホアン・ベト氏による講演
	18:00	IPM主催晚餐会(眞弓理事の挨拶)
7月8日 (木)	08:30	ホテル出発
	10:00	ベトナム現地企業 視察
	14:00	ベトナム海外労働部 訪問
	15:30	JETROハノイセンター 訪問
7月9日 (金)	07:00	ホテル出発
	11:00	ハロン湾 観光
	17:00	バッチャン村 観光
7月10日 (土)	09:00	ホテルチェックアウト 出発
		旧市街 視察
		新市街 視察
	18:00	夕食会(眞弓理事の挨拶・総括)
	20:00	ハノイ・ノイバイ空港へ
		(0:15発・VN966便)
7月11日 (日)		(機内泊)
	06:15	中部国際空港到着・解散

※ 移動は原則、専用車にて行います。

※ 食事は全てコースに組み込まれております。(お酒は除く)

【お問合せ連絡先】 財団法人国際労務管理財団 名古屋事務所

TEL: 052-218-9251 FAX: 052-218-9252

主な訪問先のご紹介

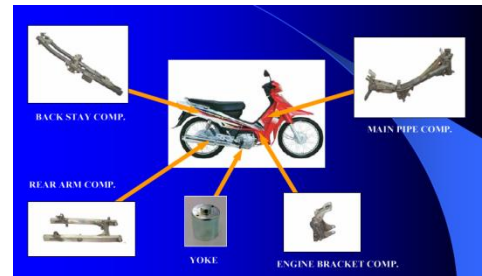
★Kyoei Manufacturing Vietnam Co.,Ltd.

【概要】

設立： 2003年6月
資本金： US\$ 5,000,000
従業員数： 662名（日本人3名）
主要取引先： YAMAHA MOTOR VIETNAM, YAMAHA MOTOR ELECTRONIC VIETNAM 他
売上高： US\$ 17,055,000（2009年）
生産品目： MCリヤフレーム、MCフレームSub Assy、スクーターモーター、EU向けMCシャシ部品

【コメント】

こちらの企業は静岡県浜松市に本社を置く株式会社協栄製作所の100%出資会社として設立された現地法人です。主にヤマハ向けのバイク部品の製造を行っています。海外拠点はベトナム以外にインドネシアにも拠点（合弁会社）をお持ちです。



★Hamagasu Vietnam Co.,Ltd.

【概要】

設立： 2008年1月
資本金： 8,000万円
従業員数： 18名
主要取引先： YAMAHA MOTOR VIETNAM, BBSV, YAMAHA MOTOR ELECTRONIC VIETNAM, FCC, HONDA 他
売上高： US\$ 500,000（2009年予測）
生産品目： 自動車、オートバイ、その他各種機械のガスケット、断熱材、ステンレスメッシュ成形品等



【コメント】

こちらの企業も静岡県浜松市に本社を置く浜松ガスケット株式会社の100%出資会社として設立された現地法人です。主にヤマハ向けバイク、自動車等のガスケットの製造を行っています。海外拠点はベトナム以外に中国浙江省寧波市にも拠点（合弁会社）をお持ちです。

★ベトナム労働・傷病兵・社会省 海外労働局(DOLAB)

ベトナムは多くの労働力を海外に送り出しており、40万人以上が海外で働いているといわれています。このような国外で働く労働者の監督政府機関がベトナム労働・傷病兵・社会省内の海外労働局（通称：DOLAB）です。日本に送出される研修生（技能実習生）もこのDOLABが管轄しており、日本の国際研修協力機構（JITCO）とも定期的に協議を行っています。

主な訪問先・講師のご紹介

★ハロン湾(Vịnh Hạ Long)

ベトナムの5つの世界遺産の一つで1994年にユネスコ世界自然遺産に登録された。ベトナム北部、トンキン湾北西部にある湾の名称であり、大小3,000もの奇岩、島々が1,500平方kmの広さに存在する。漢字表記は下龍湾。伝承では、中国がベトナムに侵攻してきた時、龍の親子が現れ敵を破り口から吐き出した宝石が湾内の島々になったと伝えられている。また数世紀前までは海賊の隠れ家として利用され、モンゴル軍の侵攻の際には軍事的に利用された。

彫刻作品のような島々の景観は太陽の位置によって輝きが変化し、雨や霧によってまた趣のある雰囲気を出す。地質学的には北は桂林から南はニンビンまでの広大な石灰岩台地の一角である。石灰岩台地が沈降し、侵食作用が進んで現在の姿となった。

ハノイから東へ約170km、ハイフォン港から北東へ35km。ハノイからは車で約3時間30分程度。



★講師紹介

講師：HOANG VIET (ホアン ペト)

- 1975年 ハノイ近郊生まれ、35歳
- 1996年4月 日本文部科学省国費留学生として来日
- 2001年3月 東京大学経済学部卒業
- 2003年3月 東京大学経済学修士修了
- 2005年4月 NISグループ(株)入社
- 2007年9月 NISホーチミン駐在員事務所長就任
- 2008年5月 フラグシップベトナム入社
ゼネラルディレクター就任
- 2008年11月 フラグシップ投資コンサルティング(株)
会長&CEO就任
- 2009年7月 フラグシップアセットマネジメント(株)
マネージングディレクター就任
- 2010年3月 VTMグループを設立、社長に就任

※VTMグループは不動産、レストラン経営、貿易、結婚式場経営、リクルート事業、IT事業等、多彩な事業を展開している。

特別紹介：大橋幸生 (オオハシユキオ)

- 1952年 静岡県磐田市出身 58歳
- 1975年3月 東北大学工学部電気工学科卒業
- 1975年4月 ヤマハ発動機(株)入社
- オートバイの生産技術系業務を遂行。新加工技術開発、組立てロボット開発と合理化、IE技術と合理化、FA工場 建設、物流の自動化、TPM活動、ISO9001構築、ISO14001構築など。
- 1989年11月 エンジン生産技術課長就任、以降各製造課長歴任
- 2001年5月 溶接工場工場長就任、以降鍛造工場工場長、機械加工工場工場長歴任
- 2006年2月 中国湖南省・株洲建設ヤマハモーター有限公司
総経理就任
- 2009年2月 ヤマハ発動機(株)早期退職、
中国上海、蘇州、西安にて店舗 経営開始
- 2010年3月 ベトナムVTM社アドバイザー就任、
VTMR社ディレクター就任

ベトナムの概要

ベトナムの概要



国旗:金星紅旗
(赤色は革命で流された血を表す)

- ◆正式名称:ベトナム社会主義共和国
- ◆面積:33万km²(日本の90%)
- ◆人口:8,579万人(2009年)
- ◆人口増加率:1.2%(過去10年平均)
- ◆首都:ハノイ(645万人)
- ◆言語:ベトナム語(識字率:93%)
- ◆民族:キン族(ベト族)86%、他53の少数民族が存在
- ◆宗教:人口の80%は仏教徒、10%はキリスト教徒
- ◆GDP:US\$1,064/人(2009年)
- ◆経済成長率:5.32%(2009年)(2008年:6.31%)
- ◆主要貿易品目:【輸出】縫製品・原油・履物・水産物等
【輸入】機械機器・石油・鉄鋼・布等
- ◆貿易相手国:【輸出】米国・日本・中国
【輸入】中国・日本・韓国
- ◆日経進出企業数:820社(2009年)
- ◆在留邦人数:9,468人(2009年)
- ◆在日ベトナム人数(外国人登録者数):41,136人(2008年末)



ベトナムの歴史

紀元前207年 チョウ・タ(趙陀)が中国広州に南越王国を建国
紀元前111年 南越王国、中国の前漢武帝により征服される
761~767年 阿倍仲麻呂が安南都護府(現在のハノイ)赴任
1010年 中国より独立し、李朝成立(都:ハノイ)
1287年 モンゴル軍を白藤江(バクダンザン)河口で撃退
16世紀 ベトナムは南北に分裂状態となる。
(北部は鄭(チン)氏、南部は阮(グエン)氏の支配)
1802年 フランス援助により阮朝建国(南北統一)
1884年 ベトナム全土がフランスの植民地となる

1945年 フランスより独立宣言
1975年 ベトナム戦争終結
1976年 ベトナム社会主義共和国成立
1986年 ドイモイ政策発表
1995年 ASEANに加盟、米越国交回復
2004年 日越投資協定発効
2007年 WTO正式加盟
2009年 日越経済連携協定(EPA)発効

ベトナム豆知識

ベトナムの最低賃金と平均給与について

ベトナムでは最低賃金の引き上げは2008年以降インフレに対応して毎年実施されるようになっており、外国企業で就労するベトナム人従業員の最低賃金は2010年1月1日より以下の通りとなった。

ハノイとホーチミン市:月額1,340,000ドン(約6,700円)

ハノイとホーチミン市郊外、ハイフォン市、ダナン市、ビンズン省、クアンニン省、ブンタウ省等:月額1,190,000ドン(約5,950円)

最低賃金の上昇率は年12~20%となっている。

また平均給与は、労働傷病兵社会省における2009年の労働者平均給与の調査結果発表によると、全セクターの平均給与は1人1ヵ月当たり284万9000ドン(約1万4000円)であった。

旅の基本情報

旅の基本情報

- 時差 : 日本から－2時間
通貨 : ベトナムドン(VND)
200～50万VNDまでの紙幣とコインがある。
レート : 1万VND≒48.5円 1円≒208VND (2010/06/10現在)
物価 : 例)ミネラルウォーター4,000～10,000VND(20～50円)
ビール8,000～30,000VND(40～150円)
タバコ8,000～30,000VND(40～150円)
コーヒー5,000～50,000VND(25～250円)
気候 : 北部は亜熱帯性気候で日本と同じ四季がある。
南部は熱帯モンスーン気候のため5～11月が雨季。
電圧 : 220V 50Hzが主流(アダプターはホテルでも貸し出しています)

注意事項

治安・交通

- ・すり・ひったくり・置き引きに注意！！
- ・見知らぬ人を安易に信用しない。
- ・貴重品は身に付けて携行するか、ホテルのセーフティボックスに入れる。
- ・手荷物は体の前に持つ。肩紐つきがよい。リュックサックは避ける。
- ・売り子の子供達等見知らぬ集団に近寄らない。または近寄らせない。
- ・交通事故に注意！！バイクが縦横無尽に走っているの、横断の際は絶対に走らないで、ゆっくり歩く。
- ・車は右側通行。日本と逆。

生活・文化

- ・生水は飲まない！！お腹が弱い人は氷も要注意。
- ・ミネラルウォーター購入時は、栓が開いていないか確認。
- ・熱中症予防の為、水分はこまめに補給する。
- ・トイレにはペーパー持参。使用後は流さず、くずかごへ捨てる。
(男女表記 男性：Nam 女性：Nu)
- ・公衆トイレは有料が多い。個室がないことも。
- ・蚊などの虫刺されに注意。



服装

夏は気温も湿度も高くなり、不快指数が高くなる。日本の夏服だけでも十分だが、降水時や、夜間は気温が下がる事もあるので、冷房対策としても薄手の上着を持参するとよい。また、日中の陽射しは想像以上に強い為、帽子があると尚よい。

男性：ノーネクタイ、襟付きシャツ、スラックス、歩きやすい靴など。

女性：極度の露出は避ける。

ノースリーブシャツの場合は、日焼け対策も兼ねて、上着を一枚。

ベトナム豆知識

漢字文化圏のベトナム

首都ハノイ。1010年、李公蕴(リ・コンウン)が現在のハノイに建都後、今年でちょうど1000年を迎える。ハノイが昇龍(タンロン)と呼ばれた李朝の時代に遡ると、東アジアの文化圏が見えてくる。フランスの支配から、ベトナム戦争を経てもなお、今に息づく中国の文化。例えば漢字。現代でこそ用いなくなったが、実はベトナム語が持つ一語、一語に漢字と同じ意味がある。

街の中心に位置するホアンキエム湖。ホアンは「還す」、キエムは「剣」を意味し、中国明代の還剣伝説からこの名がつけられたという。またハノイの地名は、「河」のハ、「内」のノイを組み合わせたもので、ホン河(紅河)の内陸側を意味する。根底にある中国文化。言葉以外にも、街のいたる所に見て取れるだろう。言葉や文化の違いはあれど、ルーツを探れば、垣根は意外に低いもの。そう固く構える事はないのです。

※メモスペースとしてご利用ください

持ち物チェック 荷造りしたらもう一度確認！

- | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
| ☐ パスポート | ☐ パスポートコピー | ☐ 海外旅行保険証書 |
| ☐ 現金(日本円/ドル) | ☐ クレジットカード | ☐ 常備薬(胃腸薬・解熱剤) |
| ☐ 下着・着替え | ☐ 汗拭きタオル | ☐ ポケットティッシュ |
| ☐ 帽子・日焼け止め | ☐ 雨具 | ☐ カメラ・ビデオ |
| ☐ 筆記用具 | ☐ 変圧器(パソコンや携帯電話充電器は変圧器不要です) | |